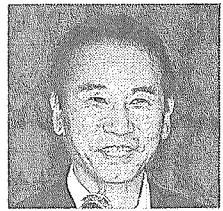


日本食糧新聞

愛着高め生産性向上

食品経営者
フォーラム 嶋谷アイマム社長



嶋谷光洋氏

25日に開催された日

本食糧新聞社主催の食

品経営者フォーラム7

月定例会では、アイマ

ムの嶋谷光洋代表取締

役社長が、令和新時代

の働き方改革と新経営

者視点を探る「インス

ピレーションがわくチ

ーム作り」のテーマで

講演し、「経営指標に

愛着があるなどのエン

ゲージメントをしっかりとらえるべき。従業

員にエンゲージメント

診断を行うと、欠勤率、

安全に関する事故、離

職人数などにも差が出て

業績評価指標にも十分なる」と語った。

嶋谷氏は、働き方改

革が叫ばれる中、日本の生産年齢人口は30年間で29%減少し、労働

生産性が低いとされる日本には、まだまだ生産性が向上する伸びしろがあると指摘。

従業員のエンゲージメントを高めることにより、その生産性向上につながり、それは①共通目的②貢献意欲③コミュニケーション——以上の三つがボイントだとした上で「生産性向上を目指して従業員エンゲージメントを高めた次に、顧客とのエンゲージメントを高めて未来を作っていくべき」と強調。

嶋谷氏は、従業員が楽しく仕事をしなければ、顧客の幸せにもつながらず、企業は対話を重視し経営を行っていく必要があるとまどめた。(阿久津裕史)